

ヘルスコミュニケーション学記念セミナー

がんコミュニケーション学連携講座開設、石川ひろの教授就任 記念講演

2018年 **7月29日** (日)

13:00 ~ 17:15

参加費

無料

定員

150名



東京大学医学部2号館講堂 (本郷キャンパス)

概要

2018年4月に、東京大学大学院医学系研究科と国立がん研究センターが、「がんコミュニケーション学連携講座」を設立し、がん情報のわかりやすい提供のための研究と医療従事者に対する教育を進めることとなりました。それに伴い、国立がん研究センター がん対策情報センターより、高山智子氏が同連携講座の准教授に就任しました。また、2010～2017年度まで、東京大学医学系研究科 医療コミュニケーション学分野で准教授を務められた石川ひろの先生が、2018年度より帝京大学大学院 公衆衛生学研究科で教授に就任されました。つきましては、がんコミュニケーション学連携講座の設立と、石川ひろの先生の教授ご就任を記念し、ヘルスコミュニケーション学記念セミナーを開催します。



宮原 哲

西南学院大学 文学部 外国語学科 英語専攻 教授
日米コミュニケーション学会 会長

演題 祝！がんコミュニケーション学連携講座設立
— 一人間コミュニケーション学と医療の
統合への期待と挑戦 —



中山 健夫

京都大学大学院 医学研究科
社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授
日本ヘルスコミュニケーション学会 代表世話人

演題 ヘルスコミュニケーションのこれまで・これから：
お二人の先生方へのエール

演者紹介



高山 智子

国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供部 部長
東京大学大学院 医学研究科 社会医学専攻 がんコミュニケーション学連携講座 准教授

演題 がんコミュニケーション学でめざすもの
— 実践から科学知へ、科学知を実践、そして生活へ

東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻博士課程修了。
博士（保健学）。国内最大のがん情報提供サイト「がん情報サービス」の運営や、また国のがん対策の要として整備が進められている全国のがん相談支援センターの展開等、がんコミュニケーション学の研究と実践に取り組む。
2018年7月東京大学医学研究科 社会医学専攻がんコミュニケーション学連携講座 准教授に就任。



石川 ひろの

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授

演題 ヘルスコミュニケーションの根拠をつくる：患者－医師間コミュニケーション研究から

東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻博士課程修了。
Johns Hopkins University School of Public Health 博士課程修了。
博士（保健学）。東京大学医学系研究科 医療コミュニケーション学分野准教授を経て、2018年4月より現職。
専門は患者－医療者間コミュニケーション、ヘルスリテラシー、医療面接教育。著書に『ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード』（共著、大修館書店）、『医療コミュニケーション：実証研究への多面的アプローチ』（共著、篠原出版新社）など。

セミナー参加のお申し込みはヘルスコミュニケーション学記念セミナー Webページからオンライン申請よりお願い致します。

ヘルスコミュニケーション学記念セミナー Web ページ

<http://www.umin.ac.jp/hc/seminar2018/>

主催：
東京大学大学院医学系研究科
医療コミュニケーション学
お問い合わせ先：
日本ヘルスコミュニケーション学
hc-seminar@umin.ac.jp

